

授業案情報					
学年	単元	授業名	授業概要		
6年	生きていくための体の仕組み	動物のお医者さんのはなし	発展	90分	獣医の仕事から生き物の体の仕組みと命の大切さを学ぶ。
授業のねらい 単元とのかかわり		身近な生き物(ペットなど)をとおして、生き物の体の仕組みに興味を持ち、命の大切さに気づく。			
企業講師だから できること		動物病院での検査データ(レントゲン)などを用い、動物の体の異常を科学的に捉える方法があることを解説する。診察手順などから動物の正しい扱い方を伝える。			
実験概要		ウサギなど学校で飼育する動物の観察(心拍数や骨格など)			
用意するもの		学校	※ない場合は用途に応じ代替物を用意または、地域の他校より借りてください。 パソコン・プロジェクター・スクリーン・あれば人体模型 ウサギやニワトリなど心音の確認できる動物(学校飼育)・動物を教室へ運ぶケージかカゴ タオル(ウサギやニワトリを拘束するため)		
		企業	説明用資料(CD-R)、聴診器		
実施条件		実施地域	札幌市内		
		年間実施可能回数	1～2回程度		
		実施可能時期	7月以降(4～6月は狂犬病予防接種により多忙のため)		
		事前確認事項	理科室の確保、関連する単元の学習進度		
		授業前準備	学校:パソコン等設置 企業:データ資料		
		授業後片付け	特になし		
		その他	水曜日希望(それ以外の曜日は5, 6時間目であれば対応可能) 学校でウサギなどを飼育していること(授業内で触れあう為)		
過去の実績		実施回数	平成22年度 2回		
		児童の声	お医者さんの説明がわかりやすかったです。命の大切さがよくわかりました。 これからウサギの飼育をするので、気をつけて飼育したいです。		
		教員の声	専門の(現場の)生の声を聞くことができるのは普段できることではないので 貴重な時間だった。実際に動物の心音を聞いてみるという体験も貴重でよ かった。		
		その他			

【お願い】児童への接し方等で、何か注意が必要な場合は事前に講師へお伝え下さい。

【お願い】企業講師の授業では『担任の先生のかかわり』こそ、「学校でまなぶ理科」と「社会」とをむすびつけるものになります。
 ◆部、既習内容のふり返り及び授業最後のまとめについては担任の先生に実施をお願いしております。また、それ以外の授業中のかかわり方(企業講師への質問、児童への誘導、意見の拾い上げ等)については、企業講師と事前にお打合せ願います。

時間	授業の内容・流れ ◆教員が実施 ◇企業講師が実施 ●児童の活動	学習のねらい	教具・教材 ★留意点
導入 5分	◆教員:授業の振り返り、講師紹介 生き物の体の仕組み～人の体(消化・呼吸・血液と心臓) ※補助教材(主な臓器のはたらき)について既習であればその内容にも触れる	・既習事項の想起	
展開 I 20分	◇企業講師:自己紹介 ・獣医とは? ・仕事の種類(動物病院、動物園、牛馬、食肉検査、薬品開発)	・獣医の存在を知る ・獣医の職場は多様であることを知る	パワーポイント パソコン プロジェクター スクリーン CD-R
展開 II 25分	～動物病院ではどんなことをしているの～ ◇企業講師:資料を用いて説明 ・動物病院の1日の流れ ・病院で行う検査の種類と目的 見る・触る・聞く・レントゲン・血液検査 直には見えないものを調べることでわかること 数値と異常との関連～どうして血液検査でわかるのか? ●児童は講師からの問いかけに都度答える (休憩:5分)	・生き物の命を守る獣医の仕事から命の大切さに気づく ・生き物の体の発するメッセージを読み取るために科学的な根拠や学問があることを知る	人体模型 (あれば)
展開 III 30分	～身近な動物について調べてみよう～ ◇企業講師:ウサギ(★)の体の特徴などを説明 ●児童:友達の心臓の音を聞いてみる(音の強さ、打つ速さ) ◆教員:学校飼育のウサギについて解説 ◇企業講師:教員の説明を補足 ●児童:(代表者5名程度)ウサギの心臓の音を聞いてみる 友達(人間)との違いを意識する ◆教員:わかったことや感じたことを児童に発表させる ●児童:発表 ◇企業講師:心音について解説	・身近な動物への理解を深め、自分と同じく「生きている」ことを実感する	聴診器 ★ウサギもしくは学校、学級で飼育している陸上動物 タオル ケージやカゴ
まとめ 10分	◇企業講師:メッセージ ・動物病院では飼い主とのコミュニケーションが大切 動物はことばを持たない＝自分で説明できない＝飼い主が普段との様子の違いや状態を説明する必要がある ・動物も同じように「生きている」ことを忘れないで ◆教員:まとめ ●児童:質問・お礼	・コミュニケーションの大切さを学ぶ ・動物(弱者)への思いやりの気持ちを持つ	